

バイオを知る

くらしとバイオ LETTER 9

特定非営利活動法人くらしとバイオプラザ21

2015年10月号

活動報告



国立科学博物館主催「2015夏休みサイエンススクエア」出展

2015年8月4日—6日国立科学博物館上野本館で、国立科学博物館主催「サイエンススクエア」に初めて出展しました。科学に触れ、親しむことで、国民の科学リテラシーの涵養を目指すことを目的としたこのイベントに、くらしとバイオプラザ21は「美味しい野菜の秘密 DNAを見てみよう」というタイトルで実験ブースを出しました。タネあてクイズに始まり、「DNAって、何?」「DNAはどこにあるの?」の疑問に実験を通じて答えられるようなプログラムにしました。講師はくらしとバイオプラザ21の笹川由紀が担当しました。SOS(スーパーオタ溶液)で小松菜、ホウレンソウ、ブロッコリーからDNAをそれぞれ抽出し、実際に目にし、観察しました。普段、目にする事のないマイクロピペットを手にし、子どもたちは興味津々。結果を得て、少しのDNAの違いが大きな違いになることや、交配による品種改良、生活を豊かにする遺伝子組換え技術、新しい育種技術に関する話に子どもたちも保護者も真剣に耳を傾けていました。



お申込みを
お待ちしております

11月15日 サイエンスアゴラ 今年も参加!

2013年にくらしとバイオプラザ21がサイエンスアゴラ賞を受賞したサイエンスアゴラに、3年連続で参加し、シンポジウムを開きます。今年のテーマは「国民病『がん』の治療法を選べる時代がやってきた」です。いろいろな立場の人たちで集まって、意見交換をいたしましょう。みなさまのご参加をお待ちしています!

期日:2015年11月15日(日) 14:30-16:00
 場所:日本科学未来館(お台場)A会場 7階 会議室3
 話題提供:田村智英子さん(認定遺伝カウンセラー[米国、日本])
 パネリスト:堤正好さん(株式会社 エスアールエル) ほか
 主催:NPO法人くらしとバイオプラザ21

参加申込方法:当日受付あり。できるだけ事前申し込みをお願いします。参加希望者は、「サイエンスアゴラ2015シンポ参加希望」として、氏名、連絡先(メールアドレスなど)を記入し、くらしとバイオプラザ21(担当:佐々・笹川・三宅)までメールかFAXで申し込んでください。



写真:2014年サイエンスアゴラより

「消費者市民ってどんな人?~“消費者市民社会”づくりに向けた消費者の役割・事業者の役割」というタイトルで、消費者市民社会の定義、そしてその構築における消費者、事業者、行政等との連携の必要性と課題についてお話いただきました。事業者と消費者は再度認識を新たにし、対等な関係を保ちながら共に育ち、高めあうことが必要であるとし、国際消費者機構の「消費者憲章」の紹介で最後締めくくられました。



2015年5月17日 参加型トーク「知ってる?育種の最先端」つくばシンポジウム開催



筑波大学で「国際植物の日」に行われたイベントでは、くらしとバイオプラザ21 笹川由紀さんがファシリテーターを務めました。クイズ出題に始まり、筑波大学大澤良教授から話題提供、そして江面浩教授、佐藤忍教授、渡邊和男教授をパネリストとしたディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、参加者から、新しい育種を用いて「金のとれるイネ」、「食べても太らないお米」ができるといいなどの意見がありました。

2015年7月15日 コンシューマーズカフェ「機能性表示食品制度が始まって」

グローバルニュートリショングループ 代表取締役 武田猛さんを話題提供者に迎え、機能性表示食品制度の特徴、トクホとの違いなどを説明していただきました。4月から届出表示や、マーケットの規模、健康食品のマーケット潜在性、ヘルスクレーム(健康強調表示)制度の国際比較、安全性評価、広告に関する留意点、企業に求められる責任などについてお話を伺いました。企業責任で表示する制度なので、企業には襟を正してこの制度が定着するように努力してほしいというメッセージが伝えられました。
(於 薬の適正使用協議会会議室)



2015年7月29日 初! ジーンバンク バス見学会「一般農場と遺伝子組換え作物隔離圃場比較見学会」



毎年恒例の農林団地と筑波大学(つくば市)へのバス見学会。今年は初めてジーンバンクを見学しました。まず、農業環境技術研究所の隔離ほ場で芝池博幸さんより施設の説明をいただいた後、ほ場へ実際に入り同研究所遺伝子組換え研究推進室の山崎宗郎さんから各作物の説明をいただきました。次に、農業生物資源研究所のジーンバンクへ移動し、活動について説明を受けた後、宮下進さんからは実際の発芽試験方法などを見せていただきました。筑波大学では、遺伝子実験センターの小野道之先生から施設案内、講義をいただき、小野先生のラボで使用している朝顔の変異体栽培の実験室などを特別に見学させていただきました。帰路のバスでは、遺伝子組換え作物が栽培されている様子を実際に見ることができ、ジーンバンクの活動や種子保存の様子に触れるという貴重な体験に、参加者からは大変好評をいただきました。

バイオカフェの



この頃



3月23日茅場町サン茶房 大日本住友製薬(株) オンコロジー臨床開発部 吉川麗月さん
「抗がん剤の今までとこれから」



4月10日茅場町サン茶房
(株)東京食肉安全検査センター長 中島和英さん
「知っておきたい熟成肉の豆知識」



5月15日東京テクニカルカレッジ
機能性作物研究開発ユニット
ユニット長 小沢憲二郎さん
「世界の医療にも貢献する植物での物質生産」



6月12日茅場町サン茶房
東京大学大学院農学生命科学研究科
教授 正木春彦さん 「東大ハチ公物語
～東大ハチ公像誕生エピソード」



7月23日くらしとバイオプラザ21事務所
アサヒビール(株)研究開発戦略部 佐々木克哉さん
「わくわくビールセミナー3」



7月26日三鷹ネットワーク大学
東京テクニカルカレッジ講師 大藤道衛さん
第1回がんに挑むバイオカフェ「がんはどうしてできるのか」

バイオカフェからのお知らせ

お誘い合わせのうえ、お気軽においで下さい。音楽演奏、手づくりケーキでお待ちしています。会場により事前申込みの有無、参加費が異なります。<http://www.life-bio.or.jp/biocalfe/>

- 10月16日(金) 茅場町サン茶房 「将来の環境・農業に貢献する“核農学”
～植物版“PET”の応用～」 藤巻 秀さん
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構植物リイメーキング研究Gリーダ-
 - 10月18日(日) 三鷹ネットワーク大学 「がんに挑むバイオカフェ3」
安井 寛さん 東京大学医科学研究所 特任講師
 - 10月21日(水) あいちサイエンスフェスティバル「様々な方法で創り出される世界に一つだけの花」
佐々木克友さん 農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所
 - 11月1日(日) 千葉県立現代産業科学館 「ヘアケアってなに～毛髪の科学から白髪染めまで」
小池謙造さん 花王(株)ヘアケア研究所 主席研究員
 - 11月22日(日) 三鷹ネットワーク大学 「がんに挑むバイオカフェ4」
三宅智さん 東京医科歯科大学腫瘍センター長
 - 11月27日(金) 東京テクニカルカレッジ 「お醤油のサイエンス(仮)」
木幡明雄さん キッコーマン(株)研究開発本部 学術担当部長
 - 12月6日(金) 多摩六都科学館 「ワリとイケてる！アズキのなかま」
内藤健さん 農業生物資源研究所 主任研究員
- *お申込みお問い合わせは、多摩六都科学館(Tel.042-469-6100)へ





日本橋地域で開催する、小学生を対象にしたワーク体験を通して、日本橋地域の魅力を発見しようという企画で、「金融」、「商業」、「医療」、「観光」といった体験など28種のプログラムが紹介されました。中外製薬㈱からお誘いいただき、くらしとバイオプラザ21では、“キッズバイオラボ～生活に身近な食べ物からDNAを取り出してみよう”を各日4回行いました。白衣で真剣に実験する小学生の姿に、多くの道行く人たちが足をとめていました。

くらしとバイオプラザ21からのお知らせ バス見学会参加者募集！

●10月24日(土)岡谷蚕糸博物館バス見学会—新旧の蚕糸業の真実に迫る—
見学先「シルクファクトおかや」 午前7時45分出発(茅場町から往復貸し切りバス)
同館は製糸工場の様子を見ることができる「動態展示」という、珍しい手法を用いている博物館で、館内見学のほかに座繰り体験を行います。農業生物資源研究所 主任研究員 志村幸子さんが同行し、車中でも楽しいお話をうかがうことができます。
参加費2000円(昼食、保険代など含む)くらしとバイオ21会員は1000円。
定員は申込先着30名。詳しくはホームページをご覧ください。
参加お申し込みをお待ちしています！



講師派遣報告 2015年4月～2015年9月

- 4月25日 名古屋大学「B人」セミナー講義
- 5月22日 ifiaセミナー「遺伝子組換え作物・食品上陸19年」講演
- 6月15,22,29日 筑波大学「サイエンコミュニケーション実践論」講義
- 6月30日 岡山大学「新しい育種技術をめぐる状況」講演
- 7月8日 筑波大学「サイエンスコミュニケーション概論」講義



事務局から 個人会員になって私たちと一緒に活動しませんか！(1口 2,000円)



●地下鉄：東西線・日比谷線「茅場町駅」2番出口 徒歩1分

編集後記

皆様にご協力いただき、夏の実験教室では461名の参加者を迎えることができました。中でも国立科学博物館で行った実験教室では、筑波大学や農業生物資源研究所の皆様と取り組んでいる「新しい育種技術(NBT)社会実装」に関する新しいプログラムとして、アブラナ科の野菜の種当てクイズをしたり、DNAを抽出したりしました。Teaching Assistantとして中学生が一緒に働いてくれたことも嬉しいことでした。秋もたくさんイベントを行います。もちろん、ご参加をお待ちしておりますが、よろしければ、サポーターとして関わっていただけますと幸いです。

特定非営利活動法人 くらしとバイオプラザ21

<http://www.life-bio.or.jp>

編集 佐々義子・笹川由紀・二瓶美郷

カット 中村典子

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-5-3 鈴屋ビル8階

電話：03-5651-5810 FAX:03-3669-7810

e-mail: bio@life-bio.or.jp